FIWC
Friends International Work Camps

フレンズ国際労働キャンプ（FIWC）関西委員会
定例委員会報告
2002 年 7 月号

参加者：楢崎真理、佐々木竜也、文、良緒、西村麻里、福田きよ子、青山哲也、豊島浩江、香川朋子、柳川義雄、赤阪大輔、劉成道、高橋真紀、入澤隆一、服部雅行、須川浩和　2002 年 7 月 20 日　交流の家にて

韓国キャンプ

キャンプ地：再生園（ハンセン病快復者定着村）
費用：５万円
主なワーク内容：石垣積み
リーダー：総リーダー　劉成道
ワークリーダー　徳永なつ
レクリエーションリーダー　槻美代子
記録リーダー　塩津静香
ＫＰリーダー　香川朋子
新聞リーダー　来住知美
教育リーダー　立花恵美
会計リーダー　桑形さおり
生活リーダー　李清華

キャンプ概要

8 月 3 日 16:00 ～ 5 日午前中：準備キャンプ（交流の家にて）
8 月 5 日 17:40：名門大洋フェリー乗船（ここからの参加者は 16:30 までにフェリー乗り場まで来てください。）
8 月 6 日 19:00　関釜フェリー乗船（ここからの参加者は 17:30 までにフェリー乗り場まで来てください。）
8 月 7 日～ 17 日　キャンプ本番
8 月 18 日　キャンプアウト、大田で打ち上げ
8 月 19 日　現地解散
下見に行ってきました。
6 月 22 日から 27 日にかけて、劉成道、徳永なつ、西村麻里の 3 人で下見を行ってきました。

下見の内容

1、村（再生園）にて
①ワーク内容を変更することになった。
当初、道路舗装、水路作り、橋の幅拡張を行う予定にしていましたが、政府からの助成金がカットされることになったため、村にある豚舎の横に石垣積み作業にワーク内容が変更となりました。
②その他
村の集会所にカラオケ機具があり、村の人たちと一緒にカラオケをしたり、ある村人の家を訪れ、お話したりしました。

2、ジョナへとの話し合いにて
①どのようなキャンプにしたいのか？
FIWC：ワークを完成されることは大事だが、「過程」も大事にしたい。
村の人たちとももっと交流を深めたい。
ジョナへ：今年はワークの量を減らしてでも、交流を深めていきたい。
②ワークのやり方を考える。
③各行事、運営方法の意味づけ。
今年もワークのほかにイベントとして茶話会、家庭訪問、運動会を行うことになりそうです。
それに加え、フリーデイの時に、希望者だけでハンセン病に関する基本的知識を載せたビラを、町に出て配る活動を行うこと、村の歴史や、村の方の人生を語っていただく講演会を行うことになりそうです。

お泊まり会報告　（7 月 6 日～ 7 日）

交流の家にて、韓国キャンプの事前研修としてお泊まり会を行いました。参加者は 20 名程度（うち初参加者は 7 名）でした。交流の家前にある釜小屋の改築ワークを行ったり、西村麻里による韓国語講座、ハンセン病療養所、邑久光明園園長牧野先生、入所者の中山さんによるハンセン病勉強会を行いました。その他、最近なぜか定着しつつある？温泉ツアーや、交流会を持ったりしました。
※キャンプソング候補として BOOM の「風になりたい」、井上陽水の「夢の中へ」、原由子の「花咲く旅路」があがりましたが定例委員会で話し合った結果「風になりたい」に決定しました。みんな…歌おう！！！（劉成道）

中国キャンプにむけて

ディスカッションキャンプ開催
場所：鳥取県こぶし館
日程：7 月 27 日～ 28 日
費用：?（梅田、弁天町から鳥取までは高速バス片道 3600 円）
具体内容：
27 日 12：00　鳥取到着
その後、海水浴？温泉？こぶし館周辺の草刈ワーク？野の花診療所（徳永進氏経営）フィールドワーク？
夜　ディスカッション
テーマ：これからの中国キャンプについて
①前回までの中国キャンプを振り返る
→・中国キャンプの魅力とは？（韓国キャンプとの比較から）
・日韓合同（PEACE　CAMP 合同）の形での長所、問題点とは何か。
②これからの展望
→・日韓合同の形でこれからも展開していくのか？それとも FIWC 単独で展開していくべきなのか？
・2 年続けて同じキャンプサイト（ヤンケン村）でやった意味とは何か？次回は他のキャンプサイトで行うのか？
③次回キャンプの具体的な展開方法について
→・下見をいつ行うのか？どういった方法で行うのか（キャンプサイトの見つけ方）
・参加者募集方法について
・キャンプ予算の立て方

28 日　朝　ディスカッションの継続？海水浴？こぶし館周辺の草刈ワーク？

夕食は野の花診療所で食べるかもしれません。？（300 円）
こぶし館宿泊料金 :300 円
今回のキャンプはハードになりそうです。
参加されたい方は
森賀成樹（次期中国キャンプリーダー）
徳永なつ（2002 年中国キャンプ参加者）まで。
（劉成道）

茅葺き屋根補修キャンプのお誘い

三重県阿山町で古い民家に住み、陶芸をしている工藤二郎さんのお宅で茅葺き屋根の補修をします。めったに体験できないワークです。山の自然の中、おいしい野菜を食べて、いい汗流しましょう。
日程　8 月末か 9 月初め
参加希望者は福田きよ子まで連絡してください。
（福田きよ子）

2002 愛生園夏祭りちんどん隊！

8 月 1 日に国立ハンセン病療養所長島愛生園にて、ちんどん隊をくんで園内を練り歩きます！楽器 、仮装の衣装の準備をしてかけつけて下さい。併せて前日 7 月 31 日から夏祭り準備ワークもします。前日ワークと園内の宿泊は 15 人までとなっています、その他の方の宿泊は邑久の佐々木邸に泊まります。参加される方は必ず、ご連絡ください。
締め切りは 7 月 23 日（火）です。
総リーダー　豊島（旧姓松田）浩江
関西連絡先　福田まや、関東連絡先　笠眉彦

光明園夏祭り　8 月 6 日（火）夕方から

例年どおり、輪投げとヨーヨーつりをします。参加したい方は福田きよ子まで（連絡先、上記参照）

時代の闇に君は何を呼びかけるか

―総括と展望―
これからの FIWC はどのように展開しこれまでの活動をどう評価するかということでディスカッションを持ちたいと思います。
これまでの FIWC を
① 1963 年以前の活動
② 1964 年からの「交流の家」建設
③ 1973 年以降の日韓合同ワークキャンプ
以上の 3 つに分けてディスカッションをしたいと思います。
日時として 9 月 22 日午後 1 時から 23 日
参加される方は資料を送りますので、その資料を読んだ上で参加してください。参加を申し込まれる方は下記まで連絡してください。
8 月 15 日までに必ず連絡してください。
（須川浩和）

大倭での主な行事

・大掃除　8 月 11 日（日）午前 10 時から
・大倭弥栄おどり　8 月 24 日（交流の家はヨーヨーつりでお手伝いします。）
皆さんぜひぜひ参加しましょう。

訃報

7 月 13 日に蒲公英さんが亡くなりました。東南アジアを旅行中、タイで持病のぜん息の発作が起き、心不全で亡くなったということです。葬儀は地元の北海道で 20 日に行われました。蒲さんは、1995 年の震災時に神戸キャンプに駆けつけ活躍しました。その後も韓国キャンプやフィリピンキャンプに参加、キャンプ以外でも多くのキャンパーと交流を持ち、良き人生の先輩であり、仲間でした。
（青山哲也）

あじさい通信

あじさい通信同封してます。（氏次麻理）
印刷費として同封されていたお金は FIWC へのカンパとさせていただきます。ご了承ください。

委員会費およびカンパを頂いた方

FIWC 関西委員会より
藤岡羊子さん、辻征雄さん、三木善彦さん、木村聖哉さん、藤沢真人さん、藤沢美恵子、藤沢抱一さん、李良文さん、坪川宏子さん、鈴木孝三さん、鈴木ムツミさん、森岡律子さん、加藤佳子さん、佐藤里香さん、上田佐知子さん、萩野満寿美さん、三宅一志さん、石井雅子さん、巽重雄さん、鈴木由美さん、樋口邦彦さん、高門亮子さん、津村洋子さん、飯田哲也さん、結純子さん、二井田和亮さん、松本八重子さん、松本秀行さん、氏次麻理さん
みなさんのご協力のおかげで、FIWC 関西委員会の現在の活動を多くの人に届けることができます。頂いた委員会費およびカンパを関西委員会の「 心の掛け橋 」である委員会便りとして、これからも発送していきたいと思います。
本当にありがとうございました。これからも、ご協力お願いします。
郵便振替　00910-0-250615　FIWC 関西委員会
（FIWC 関西委員会会計　志賀純子）

次回の定例委員会

9 月 21 日（土）19 時から　交流の家で行います。
司会担当は森賀成樹です。
今月の定例委員会司会担当は楢崎真理でした。

定例委員会報告
文責：劉成道　赤阪大輔

発行：フレンズ国際労働キャンプ（FIWC）関西委員会
委員長　劉成道

※ PDF 版では個人の電話番号など個人情報を掲載していません。必要な場合はメールにてお問い合わせください。
web@mognet.org

PDF 版製作：茂木亮